

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38031
事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック開催費					
評価担当課	所属名	ス) 招致推進部 調整課				
	課長名	工藤 晃史	担当者名	片山	電話番号	211-3042
施策名	主	シティプロモート戦略の積極展開				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	・東京2020大会の円滑な開催。 ・札幌でのオリンピックの開催を通じて、多くの市民にオリンピック・パラリンピックの魅力を感じてもらい、2030冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた期待と共感につなげる。			
		長期	・東京2020大会を通じて、スポーツの魅力を広く発信し、市民のスポーツ観戦機会の増加及びスポーツ実施率の向上につなげる。 ・東京2020大会を通じて、札幌の魅力を広く発信し、今後のインバウンド増加につなげる。			
	取組内容	・大会開催による市民生活への影響を最小化するために行政として実施する取組の検討・調整 ・大会時に街中にて観光案内等を行うボランティア活動の運営 ・競技会場外でも大会の盛り上がりを感じられるライブサイト・パブリックビューイングの実施 ・大会の祝祭感を演出するシティドレッシングの実施 ・大会開催に係る広報PR等の機運醸成事業の実施 ・大会組織委員会等の関係機関との協議・調整 等				
実施結果	新型コロナウイルス感染症流行下において、安心・安全な大会運営を行うためのテストイベントの開催。 観戦自粛広報活動の実施。 ボランティア活動の運営 東京2020オリンピック競技大会のサッカー、マラソン、競歩の開催。					
事業実施における工夫点	・沿道での観戦自粛を要請するため、市公式ホームページのバナー掲出や地下鉄東西線・南北線「大通駅」のホーム柵にステッカーを掲出する等、観戦自粛広報を実施。ボランティア活動において、ワクチン接種の勧奨や希望するボランティアがスクリーニング検査を受けられる体制を整備。					
対象者	市民、競技者、観光客			開始	平成29年度	終了 令和3年度
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	他の開催関係自治体でも同様の事業を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	84,784	813,000	346,892	0	
うち特定財源	44,786	791,558	326,568	0	
人工	0.0	21.0	21.0	0.0	
人件費	0	151,200	151,200	0	
計(事業費+人件費)	84,784	964,200	498,092	0	
事業費の内訳	令和3年度決算	ライブサイト等企画運營業務(キャンセル料)、シティドレッシング・広報PR:175,805千円 北海道・札幌マラソンフェスティバルの開催にかかる実行委員会への負担金:67,522千円 開催にかかる救急・医療サービス費(テストイベント含む):30,395千円 沿道応援自粛広報(新聞広告)等:13,804千円 ボランティア運営委託、パラリンピック採火式等:10,417千円 その他:48,949千円(職員人件費(時間外勤務手当等-予算委託分除く):20,323千円等)			
	令和4年度予算	東京2020大会が終了しているため、今後の対応は発生しない			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	2021年度(令和3年度)大会開催			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
			大会開催		
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	2021年度(令和3年度)大会開催			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
			大会開催		
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症流行下において、マラソン・競歩の沿道観戦自粛広報を行ったほか、大会運営をサポートするボランティアを対象に新型コロナウイルス感染症の基礎知識等を含めた研修を開催し、安心・安全な大会運営を実現に努めた。 また、ウクライナ男子、カナダ女子のゴールボールチームのホストタウンとなり、事前合宿のほか、学生との交流等を行った。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、ライブサイト等の集客性のあるイベントは開催を見送り、市内体育施設や都心部の大会関連装飾等、感染再拡大の要因となる人流の増加に影響が少ない事業を実施した。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ボランティアを対象とした研修については、新型コロナウイルス感染症への対策として、オンライン研修によるものとし、ネット環境にない方向けには、密にならないよう適切な距離を確保できる会場を用意し、実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	ボランティアへのアンケートで、新型コロナウイルス感染症に関する研修を要望する声が多数あったため、専門家を招き、新型コロナウイルス感染症予防に関する講演を開催する等、コロナ禍での大会開催に向けた準備を進めた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	東京2020大会が終了しているため、今後の対応は発生しない				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナウイルス感染症の感染状況を受け、実施する事業の中止・縮小等を行い、安心・安全な大会運営に努めた。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症が流行する中での大会実施であったが、新型コロナウイルス対策と大会運営を両立し、大会を開催することができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 東京2020大会が終了しているため、今後の対応は発生しない			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他 東京2020大会が終了しているため、今後の対応は発生しない		見直し効果額	0